

## (12)古平地域

指定基準	講 評	該当 状況
イ.当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。	古平地域は「つながり・みんなでつづける“古平サクセスストーリー”」をキャッチフレーズとして、水産加工業における地場漁獲物の活用や新たな商品開発・販売、海の環境や漁業への理解を深める総合学習の推進、森づくり事業などを通じて活性化を目指す計画となっており、地域にとって価値あるビジョンとなっている。	
ロ.当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。	<p>ビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階で他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p> <p>今後は、形にこだわらず、古平の特徴を活かし、他産業との連携も考慮した取組みも期待したい。</p>	
ハ.当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。	若者ヒアリングの実施等、多様な参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。また、ホームページに取組み内容を随時掲載する等、地域の合意形成を意識したビジョンを推進する環境づくりも評価できる。	
ニ.当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。	拠点となる古平漁港は、衛生管理の高度化を図る漁港施設の整備が計画されており、地域マリンビジョンの一助と期待されるほか、継続的なビジョン実現に向けた取組みによって漁港の効用が最大限発揮されるものと考えられる。	
ホ.地域マリンビジョンの実現に向けた取組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組み主体の熟度が認められること。	<p>古平ブランド認定事業の実施や町内人材バンクに関する協議開始などの取組みが開始されているものの、他産業や町民との有機的な連携に課題を残している。</p> <p>今後は、フォローアップを通じて、多様な連携も考慮した古平地域の特徴を活かした取組みを期待したい。</p>	